

はでんや 『波伝谷に生きる人びと』 作品資料

作品紹介 『波伝谷に生きる人びと』

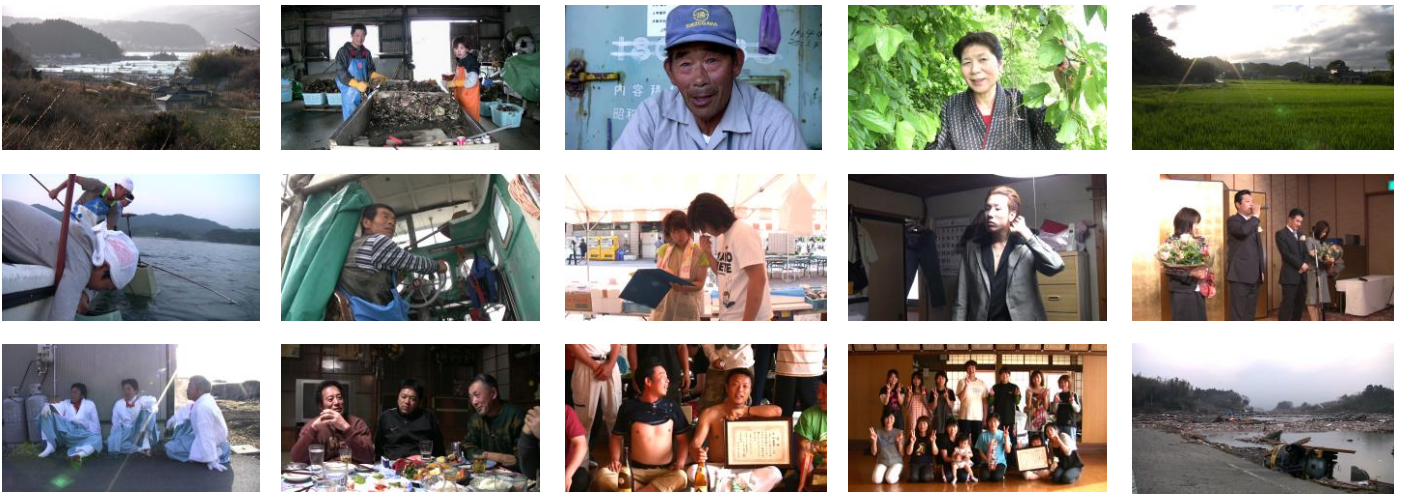
宮城県南三陸町の海沿いに位置する戸数約 80 軒の波伝谷（はでんや）部落。本作は、東日本大震災の津波により壊滅したこの小さな漁村に生きる人びとの、震災前の日常を追ったドキュメンタリー映画である。

物語は 2008 年の 3 月に始まり、漁業者たちの日々の仕事や地域の年中行事、そこでの多様な人間関係などが、ゆったりとした土地の空気とともに描き出されていく。過疎化が進みながらも豊かなくらしを育んできた波伝谷の人びとの時間と、そこに寄り添う作者自身の時間。二つの時間が重なりながら、物語はやがて 2011 年の 3 月 11 日へと向かっていく…。

「人が生きていく限り、人の営みは続いていく。」震災前から東日本沿岸部の人の営みを見続けてきた作者が、震災を経験した日本人に贈る入魂の一作。

■ピーストゥリー・プロダクツ制作／我妻和樹監督／2014 年／日本／HD カラー／16:9／134 分

■第 36 回びあフィルムフェスティバル PFF アワード 2014 「日本映画ペンクラブ賞」受賞作品



■フェイスブック <https://ja-jp.facebook.com/hadenyaniikiruhitobito>

■予告編 <http://www.youtube.com/watch?v=MZCzGZYGWQY>

監督プロフィール 我妻和樹（あがつま・かずき）

1985 年宮城県白石市生まれ。2004 年 4 月に東北学院大学文学部史学科に入学。翌 2005 年 3 月より、同大学の民俗学研究室と東北歴史博物館の共同による、宮城県本吉郡南三陸町戸倉地区波伝谷での民俗調査に参加。2008 年 3 月の報告書の完成とともに大学を卒業し、以後個人で波伝谷でのドキュメンタリー映画製作を開始する。2011 年 3 月 11 日の東日本大震災時には自身も現地で被災し、その後も撮影を続けている。

製作に約 6 年の歳月を費やした初監督作品『波伝谷に生きる人びと』は、2013 年 8 月 15 日に行われた波伝谷での試写会をもって完成となり、同年 10 月に行われた第 13 回山形国際ドキュメンタリー映画祭の震災関連映画特集「ともにある Cinema with Us」にて初公開となった（初公開時は 128 分）。現在はピーストゥリー・プロダクツとして上映会を主宰し、2014 年の夏には宮城県沿岸部を中心とした 11 市町での縦断上映会を開いている。



※本作は、現在全国劇場公開に向けて準備中です。資金・その他のご協力を随時受け付けておりますので、ご興味のある方は下記連絡先までお知らせください。

■問い合わせ先 ピーストゥリー・プロダクツ（我妻） ☎peacetree_products@yahoo.co.jp